れました。 長に浜田好晃氏 (八期生)と高 (五期生)が留任され、新副会 りました。副会長は真田治孝氏 私 (四期生)が大谷氏の後を継 名誉会長にそれぞれ就任され、 谷康憲氏 (前会長・三期生)が が相談役に、任期満了に伴い大 校同窓会の人事異動により、秋 木恒一氏 (十六期生) が推挙さ いで会長の重責を負うことにな 山彰三氏(前名誉会長・一期生) 平成十三年度駒澤大学高等学

母校の歴史に初めて同窓生の校 少なくないと聞きますが、わが 生が母校の校長に就任する例は 母校の校長に就任されたことで 掲げなければならないのは、同 窓生の浦敏之氏 (十三期生) が す。特に私立学校の場合、同窓 また、大きなニュースとして

たいと思います。 り、同窓生の皆様にこの吉報を 長の名前が刻まれることにな 田 上 太 秀

す。この記念総会には同窓生全 開催する準備段階に入っていま えます。五十五周年記念総会を 立四十周年記念総会を開催して 員のご参加を希望しておりま おり、もうすぐ五十五周年を迎 お伝えし、ともに喜びを分かち さて、同窓会は平成三年に創

ろは決して多くはないと考えま うに活発な活動をしているとこ もありますが、わが同窓会のよ 同窓会の活動はどこの学校で

徒達の活躍は全国的にみて顕著 生を世に輩出しています。また、 育内容も充実して、優れた卒業 展しています。建物も設備も教 スポー ツや文化の各方面での生 わが母校は目を見張るほど発

加するような形で援助の手を これまで秋山相談役と大谷名誉 観するのではなく、積極的に参 に刺戟されて、母校の動きを傍 このような母校の発展と活動

> 少なからず有益となるのではな それが同窓生の社会的活動にも 飛躍的に発展するでしょうし、 惜しまなければ、母校はさらに 協同して、母校のために尽力を ました。二万人を越す同窓生が ら差し延べ、助成活動をしてき 会長のもとで同窓会は微力なが いでしょうか。

所 等

会 21933名 窓

TEL.3700-6131代 FAX.3708-7291

東京都世田谷区上用賀1丁目

駒 澤

学 校

発行

第37号

簿にないのが残念です。 学制に戻ったに過ぎませんが、 ら男女共学であったので、元の の名前が掲載されていません。 周知のように母校は開校の時か に、この名簿には女子の卒業牛 に男女共学が移行されたため て刊行されました。 実はこの年 移行後の女子同窓生の名前が名 同窓会名簿が平成七年に初め

窓会に女性役員が誕生していま 事にある通り、現在、すでに同 「同窓新報」掲載の新役員人

前列中央= ポール吉田 (吉田慈) 氏

鋭意編集に取り組んでいます。 報を満載したいと編集委員会が す。「同窓新報」に同窓生の情 同窓会名簿の発刊が急務で 女性の同窓生を掲載した新し

に刺戟となる知識や情報を教え てください。 どうか活動状況や母校の生徒

営するには、同窓生諸氏の協同 する心と、その意識の高揚が必 伝えることも最大の活動と考え スポーツにおける活動を通して ています。 この目標と活動を運 要不可欠です。 同窓会は母校の生徒の教育や

り、ご協力をお願いいたします。 同窓会の活動にご理解くださ

(駒澤大学仏教学部教授)

名誉会長 大 谷

康

役員の皆様方のお力に依って大 がこの間会員各位をはじめとし て早十年の歳月が経過しました になりました。私会長に就任し 過なく責務を果すことが出来ま 上げます。この度同窓会の規約 益々御清福のこととお慶び申し したことを衷心より感謝申し上 により名誉会長に就任すること 会員各位の皆様にはその後 交流しあの当時の苦楽を経験し

の先輩、後輩諸氏が一堂に会し たのではないでしょうか。 大勢 で青春を送った人ならば年の差 中にあって、少なくともその中 わたる輝かしい同窓会の歴史の 変賑わいました。過去五十年に の参加者があり会場せましと大 て開催され、この時は予定通り ンチュリー・ハイアットにおい 同窓会五十年記念総会を新宿セ ります。又平成十二年六月には 総会ができたと確信いたしてお 同窓会より講堂正面の本尊様の 開催されこの時は落慶を祝して を母校新講堂兼体育館に於いて は問わず、大きな感激をもたれ 仏具一式を贈呈し大変意義ある

を沸かせている四人組。「音楽 と笑い」で成り立つ楽しさを で様々なステー ジにたち観象 一九九四年結成。全国各地 くれる事だろう。

ない。メンバー全員が活躍 追求している。日本では数少

するバラエティショウバンド

として活動している。

目の出演となるが、前回と同

母校の文化公演会には二回

様に大いに生徒を楽しませて なお、ベースボーカル担当

十八期口組・昭和六十三年の

卒業生である。

願い致します 同窓生の応援、

のポール吉田 (吉田慈) は三

2日·

枸澤大学高等学校

母校の様子を明確にするため重 会員の御協力はもとより編集委 ので今後は益々充実させて頂き 格別の御協力と御理解によって 員の皆様方をはじめ会員同志の か。いずれの記念総会は準備委 さん頑張ろうではありません な」の言葉を心の支えとして皆 として愛し「同窓会の火を消す をもつ我が母校を心のふるさと 秀会長を中心に新しい体制の下 員の皆様方の活躍に期待いたし 要な役割をしめているわけです と思います。そして伝統と歴史 ているのが同窓会の実体である 志の疎通を計り同窓会の充実発 たいと思います。 今後は田上太 ます。 同窓新報は会員の動向や た。 あらためて御礼を申し上げ 無事円成することができまし 影響をうけつつも連綿とつづい て時代の変遷にともなう様々な 展があると確信しました。 そし れ私はこのことに依って会員同

第三期生 (東光寺住職)

上げます。

での同窓会の発展を御祈念申し

月に同窓会四十五周年記念総会

いの光景がいたるところで見ら たことを思い出しながら語り合

思えば会長就任中平成七年六

の道路はほとんど舗装されて 道路のできる前で、学校の前

明るい未来を求めて

校長 敏

た。本校卒業生初の校長とし 四月に第十代校長を拝命し

谷校舎であった。旧東急本社 部の授業があった。首都高速 さな校舎で、夜は第二商経学 (現ホテル)の前にあった小 駒大高校に入学したのが、渋 る。駒大高校との因縁を辿っ て勤めさせていただいてい 学校の内容もよくわからずに てみると、昭和三十五年四月

駒大高校に就職させて頂い た。面接試験は用賀校舎であ 三十七年暮れに駒澤大学内の 開けられない状態であった。 に駒澤大学を卒業し、何とか 新校舎に移転した。 四十二年 上ってくると春は土埃で目を なかった。渋谷駅から坂を 情報の共有と公開 バランスの良い部活動

は「暇そう、校長室でなにし りがたい一言があった。生徒 リした後で喜んで、「あまり まま平教諭からいきなり校長 年経ち、教頭職の経験もない を過ごしていた。以来三十数 員になれて、はりきって毎日 てんの」と聞く。 無理をしないように」 とのあ 嘅に就任した。 私を知る人は 様にピックリする。 ビック 幼い頃からの夢であった教 身の丈で生きることを考えて とはないが、教育にとって一

長と共に将来展望の計画を練 車が合いだした。教頭、事務 して、夏休みになりやっと歯

・生徒のための学校」 しかし、母校で定年を前に

位置づけ、基礎基本を大切に 今年を「駒大高改革元年」と の様に舵取りをして行けばよ 校長という大役を任され、ど する諸計画を立案中である。 めの学校」作りを目標にし、 員の協力の下に、「生徒のた ようと読み返している。 教職 箱から出して何かの参考にし 教書や教育の実践記録書を本 いか毎日悩み迷いながら、仏

開校以来脈々とつながる駒

大高校の伝統を第一にし、 判りやすい教科指導 丁寧な進路指導 心を豊かにする宗教教育 納得のいく生徒指導

以上の事柄を大切にする学校 運営に日々努力する。 これらのことは目新しいこ

でも、我が校に入学するのは 護者の期待に応えることが大 なぜか」その答えは生徒と保 る。「高い授業料を払ってま 失った子供達には、心を強く する宗教の教えが必要であ 考えると、心のよりどころを 最近の不安定な社会状態を

之 て行かねばならない。 本校を卒業(昭和三十八年)

校に就任以来、自分にとって っていただけた。 はじめ諸役員のご理解を得 も秋山元会長、大谷前会長を 運営に邁進してきた。 幸いに 重要な仕事と考え、同窓会の 同窓会を活性化させることが 運営にたずさわってきた。 本 以来同窓会の役員として会の 仕事のしやすい環境を作

窓生との出会いや優れた仕事 いただいた。 輩に恵まれた。 特に同窓新報 るなど、楽しい経験をさせて の発行、役員会の準備等々の をしている同窓生の消息を知 の編集をしていると未知の同 仕事を通して多くの先輩や後 会員名簿の作成、同窓新報

校の在り方を謙虚に見直し、 ため、足固めをする年と考え 今後の生き方を大胆に進める 元年」として、これまでの本 本校は「平成十五年を改革

きた同窓会は本校にとってか

平成十五年八月十一日

ないままに夢中で毎日を過ご

切である。そのためには進路

校長就任以来、何もわから

したものになるように指導し 指導や日々の生活がしっかり

準備を始める必要がある。 年建築の現校舎の安全性を考 えると、新校舎建設に向けて 年を迎えることになる。記念 行事の一環として平成四十一 平成二十年には開校六十周

番重要なことである。 まずは

て行く大きな助けとなるよう けがえのない団体の一つであ にさらなるご協力をお願いす 我が校の長い歴史を支えて 本校がこれからも発展し

第十三期生

強さを感じた。

平成15年度 役 員

井上誠二(3期)

石川美由紀 (48期)

出

拓(41期)

敬仁 (40期)

安仲 成田

聡 (43期)

石井 上原 菅谷

> **圭太**(50期) 正和 (49期) 智晴(47期)

義孝 (42期)

佐藤 行廣

衛(45期 剛 (44期)

真理子 (53期) 紀子 (52期) 瑞希 (51期)

は新任)

特別顧問 問 敏之 (校長)

鈴木 大内 勝蔵 (事務長) 貞雄 (教頭)

相談役 小野 忠一(総務部長) 健二(校友会主任) 洋 (教務部長)

名誉会長 秋山 彰三(1期)

大谷康憲(3期) 長

前田

滋夫 (20期)

克治 (21期)

副会長 田上 太秀 (4期)

真田 好晃 (∞期) 治孝 (5期)

高木恒一(6期)

正行 (27期) 和美 (24期) 真一 (23期)

新一(29期)

= 庶務担当

正男(1期) 清 (19期)

涌井

荒井 伸夫 (2)期) 馨 (21期)

真間 和夫 (27期)

博一(27期)

元司 (31期)

健介(38期)

宮田 市川道太郎 (1期) 大石 智子(事務) 利徳 (15期) 明廣 (19期) 信行 (28期) 由明 (16期) 光俊 (18期) 俊一(7期) 信昭(2期) 幸一 (16期) 道雄 (10期) 茂 (4期) 進 (17期)

垂極時期重極層極層極層極層

順平 (46期)

英之(32期) 秀一 (34期) 直正 (30期) 盛一 (33期) 透(36期) 潤(35期)

同年度樂越至 会金(15,00) 年会費 名簿関係費 60年配念誌収 寄付金 雑収入(龍)

前年度子算 前年度決 500,000 268,977 200,000 140,423 800,000 768,782 600,000 478,000 478,000 250,000 400,000 250,000 1,000,000 357,000 1,000,000 500,000 1,000,000 49,245 500,000 49,245 1,000,000 359,049 14,500,000 12,373,322 6,902,599 3,371,332 21,402,599 21,744,654

クラブ助成費 名簿関係費 文化活動費 並55時等解註 か 骨 費 小 計 次年度繰越金 総 計

本年度于郵 400,000 200,000 700,000 500,000 7,000,000 400,000 1,000,000 500,000 200,000 1,000,000 1,000,000

- 4號・蘇爾36問題送料 不是分先主 (祭 內部) 三并住放銀行 松析町文店 (登通) 三并住及銀行 松析町文店 (登通)通 東京三寨銀行 世田谷支店 (普通) 城南信用金庫 開賈文店 (普通) 世田谷用賈郵便局 (港灣) 世田谷用賈郵便局 (定期) 5. 320, 784F 173, 254F 39, 836F 500, 638F 516, 820F 2, 820, 000F 1 4年度駒澤大学高等学校同窓会収支計算書について を行った結果、妥当且つ適正であることを疑明します。 針監查 海田女子多篇 吉野信行 建

置からな	クラブ	平成十
当)助成費不足分を	-四年度決算報告
	予	

常任幹事・幹事…十三名新任 相談役~会計監査... 七名新任 平成十五年度事業計画 特別顧問・顧問..四名新任

平成十五年度予算 創立五十五周年事業で母校

學務費・会議費削減を目指す

平成十五年度役員総会報告 立てて行われた。 平成十四年度事業報告

生初の校長に就任なさった。 浦校長のお話に皆、情熱と力 浦校長より祝辞をいただいた。 辞に続き、大谷会長より挨拶: 会役員総会が開催された。 において、平成十五年度同窓 より駒澤大学高等学校会議室 司会者井上誠二氏の開会の 浦校長は、本年度から同窓 五月三十日 (土) 午後三時 井清・高木恒一の各教諭、一 教諭、三十年の久保田實・涌 新羅朱美・鈴木純行・宮林稔 十年の吉野信行教諭、十年の 行われた。四十年の広谷五郎 記念品を贈呈した。 の各教諭の皆様に、本会より 続いて、永年勤続の表彰が

項目の審議が順次、説明者を 孝氏を選出。予定通り議事七

間の決定

議事に移り、議長に真田治

平成十五年度役員改選

の記念品について に防犯設備を寄贈 創立五十五周年の出席者へ

ハイライト

平成十四年度事業報告

クラブ助成に内規を作成 創立五十五周年の会場・時

その他

平成十五年度予算審議 平成十五年度事業計画審議 平成十五年度役員改選 平成十四年度会計監査報告 平成十四年度決算報告

四十年勤続

のが、一九六八年には一千万

としている。時代状況を正し

広 谷 五 郎



「今にして思えば 同窓生の皆様お元気です あっという間の四十年」

報

来ません。昭和四十、五十年 か。私しも昭和三十八年四月 います。質実剛健の男子校か 於いて生かされている事と思 それぞれの職域に於いてほと ました。その生徒達も今は、 代と私の血気盛んな時期に無 は何にもまして忘れる事が出 忘れる事は出来ないが、バレ の間クラスの生徒の事は当然 べきものがありました。その た健全な精神と肉体は特筆す 強は良く出来たとは言えませ 荷っています。 お世辞にも勉 んどの人達が中心的な役割を れにめげずについて来てくれ 理難題を押し付けたが善くそ を迎えようとしています。 こ に奉職して今年で四十一年目 **事が現在のそれぞれの立場に** んが、スポーツを通して鍛え ボール部の教え子について

闻

窓

る時はありませんが、皆さん 本社会が変化しようとしてい 生徒達がいた男子校時代が懐 になりましたが、やんちゃな ら共学に移行して早や九年目 しく思えてなりません。 同窓生の皆さん、今ほど日

> 社会に寄与される事を願って が常に健康に留意され、益々 お待ちしております。 大高にお立ち寄りください。 おります。そしてたまには駒

(保健体育科)

三十年勤続

教諭 Щ 海 俊



日々邁進」

新

ができたのも、なんと、ラッ 生活を送ることができた。) れもミレニアムを迎えること 思えば、世紀の変わり目、そ だったことか。 で、良い時代状況の中、教員 キー なこと (いろいろな意味 に恵まれ、ここに至っている。 から始まり、影響を受けた 人々との出会いや多くの幸運 三十年の教員生活は、偶然

科学技術が発達して、日本で それらの恩恵を十分享受でき も、その最後の四半世紀には 付き、市民の権利が尊重され が、その基盤となっている。 を可能にしたのは、二十世紀 あふれる社会となった。それ たのでは…。私の子供の頃は に起きた前述の三つのこと 一九六〇年に十万台であった **ハの世界であった「もの」の** 二十世紀は、民衆主義が根 電話を例にとってみると、

ーより性能の良い印刷機が っても、分かるように、鉄 けてきている。印刷を例にと 教育活動を支えてくれてい 幾多の技術革新を経て、コピ 電式で原紙を切る方式まで、 筆・ガリ版から現在使用の放 も、それらの多大な恩恵を受 この三十年間の教員生活で

つ、確実に、情報通信技術の ている。 二十世紀は、少しず して新たな取り組みができる 革命が、進んできたわけであ

ている。 それを支える科学技 術の進歩には目を見張るもの る。極めて短い期間に、一般 ピ・ラジオもパソコンも携帯 ポケベルやパソコンを経て、 を越え、ほぼ各家庭に一台、 がある。 大衆に普及するものが続出し 電話も一人一台の時代であ 携帯電話にいたり、今やテレ 家庭電化製品やファッ クスや

る。生徒の学校生活をみても、

育手法が、取り入れられてき 生徒一人一人を大切にする教

ろいろな施策がなされている。 け、新たなる目標が設定され、 あり方も、言わずもがな、こ い。インターネットのインフ うした時代背景の影響を受 え、社会が求める「教育」の 二十一世紀に突入している。 るが、ここ数年の変化は大き 社会の仕組みを根底から変 信技術)革命が一気に進んで、 ラが整備し、ICT (情報通 確かな学力」を求めて、い こうした時に、本校教員と

台、一九八一年には四千万台 やかに、したたかに、日々邁 生を充実させたいものであ もの。だと思う。この千載 体となって、創り上げていく 生徒・保護者・教員が三位 評価される学校へむけて、動 進したいと願う日々である。 る。老いてこそ、教員。しか 尽力し、これから先の教員人 遇の機会に、微力ではあるが こうとしている。学校教育は く捉え、より多くの人々から (理科

木 恒



ことの喜びを、数多くの先 変革期に際し」 母校を卒業し母校で教える

十年勤続



平寺修行、現在に至るまで、 がかけがえのないものとなっ れた。その一つ一つの出会い かげで生かされている。 本校 事を学んだ。学生時代から永 でありながら生徒から多くの ている。 生徒に教授する立場 奉職以来、多くの良縁に恵ま 人は一人では生きて行けな 私自身、多くの人々のお

行 る最良の出会いを大切にして たい。勤続十年を機に新たな 今の私を支えている。 我家は 遇進して行きたい。 恩感謝の営みを実践して行き 駒澤の伝統を次世代に伝える ここ「駒澤」で得た出会いが 二世代「駒澤」出身である。 **里要な役職の中で、精一杯報**

教諭

鈴 木

純

「冀法身堅固福寿無量」

(宗教科)

教諭

林

明

最良の出会い」



「十年の思い」 このたびは同窓会より勤続

時同じくして、本校も新たな

る駒大高校を目指して進もう

育は大きな転換点にいる。」

何方かが、 仰るように、「 教

幸せを、全身で感じている。

った、輝いていた生徒たちに も感謝したい。 そして、この間に教室で出会 た。ありがとうございました。 輩・同僚・後輩に支えられて 三十年もつづけてこれまし

りに反省とさらに新しい出会 いを期待して頑張りたい。 に立てたのか、三十年の区切 た。 この変革期に少しでも役 行し早九年あまり経ちまし 本年より母校の校長に同窓 母校も平成七年に共学に移

ので、宜しくご支援をお願い す。また、同窓会の副会長 生が初めて就任しました。同 期待に応えるべく頑張ります です。同窓生のみなさまのご (庶務担当) の大任を仰せつ 窓会活動に全力を尽くす次第 けられました。 より一層、同 窓生の一員として嬉しい事で

(十六期・地歴科)

大きなあくびをして、ふと

切にして頂きました。現在は りました。 年配の方の多い本 らの勤務で、時間のやりくり 校で娘のように可愛がり、大 性教員の初代として本校に入 十年のお祝いをいただき、あ た。共学に向けて採用する女 ばあっという間の十年でし りがとうございました。 思え 二歳の娘を保育園に預けなが

めに今後も努力する所存で きます。時間を有効に活用し、 Eメールで相談を持ちかけて に奮闘する毎日です。 この窓 生徒の成長と学校の発展のた ンとEメールです。教材研究 闘を助けてくれるのがパソコ 進路指導等々。そして生徒も (国語科) 出来事が続いた。

教諭 久保田

振り返ると、三十年が過ぎて



井

(国語科)

教員生活三十年」

出会ったコンピュータ。教育 ないうちに朝がくる。 り込む。カタカタカタ、知ら も学問もこれで変わるとのめ 企画・立案・説得と、寝れな 内が揺れた。駒澤大学の教授 大学推薦問題や学力問題で学 学問も遊びも、寝るのも惜し う場所は、東銀座駅改札に い課題に苦しんだ。四十代に んで夢中になった。三十代は、 歌舞伎に連れて行った。熱い 時。」無許可で、生徒有志を との激論、そして高校改革の 二十代の教師だった。 教育も 「 みんな行くぞ。 偶然出会

二十年勤続

吉

野

信

行

(十九期・保健体育科)

教諭 新 羅

美

(三十八期・国語科)



「勤続十年)改革の時代へ」 され今年で十一年目を迎え 行、新体育館の落成と大きな る。その間、男女共学への移 平成五年に教諭として採用

のは多くの先生、卒業生、保 らと感謝、感謝である。 護者の方々の支えがあったか 今も生徒達との日々がある

等々、山積する仕事への気持 ちを奮い立たせてくれたのは 任、生活指導では頭髪指導 家庭科の授業、クラスの担

生徒達の存在だった。

今年から新カリキュラムの

かも知れません。

駒大高校同窓生の皆様こん

我々は幸せであると同時に重 らと密接に関わる事のできる

アンソニー フェントン

とになるとは思ってもみませ んでした。 こんなに長く駒大高に居るこ 十年前、南極観測隊に参加 十年なんて早いものです。

駒澤大学高等学校と私」

私が、憧れと夢を抱いてカ

することが決まっていなが から学校という場所が好きな まったのはなぜだろうと、今 ら、教師になる方を選んでし でもふと考えるときがありま ひょっとすると、ぼくは昔

> 駒澤大学高等学校の教職に就 三年が経とうとしています。 ナダから来日して、早くもナ

いてからは、十年。 まさに光

子どもで、それがそのまま大

同

もがんばっていきたいと思い ってもらえるよう、これから 面白い。生徒にも好奇心を持 ん出くわします。 これが実に ようで知らないことにたくさ 人になってしまっただけなの 学校にいると、知っている の思いも、次々と込み上げて 学高等学校でのものと言って の思い出は、そのまま駒澤大 も過言ではないような気がし 来ます。私にとっての日本で

成長して行きたいと切に思っ も初心に帰り、生徒達と共に うとしている。改革元年、私 下、駒大高校は大きく変わろ

講師

宮 林

(理科)

(家庭科)

成し得たことだと思っていま 頃から教職に勤しみ、生涯の 代えられない喜びの一つです って与えて頂けたからこそ、 徒を指導するという有意義な することが出来ました。仕事 機会を、十年という長期に渡 いと、日本に来て異文化の生 仕事にして行きたいという思 ありましたが、カナダにいた で、時間的に大変な時も多々 をしながらの勉強という車 修士号を昨年末、無事に取得 んな気持ちを噛みしめながら 識する一時でもあります。 そ しての責任を強く意識し、 が、それは教育に携わる者と 長し巣立って行く姿を見送る ことは、私にとって何事にも |年程前から始めた教育学の 生徒たちが毎年、逞しく成

また、駒澤大学高等学校は

はとても言い尽くせない数々 るのと同時に、そんな一言で が、時の流れの速さを実感す 陰矢のごとしと言った風です

て奉職してきました。今年か らはより生徒と接する機会が みた時、心の底から誇れる学 指導・御鞭撻よろしくお願い 校(母校)を目指します。御 彼らが自分の青春時代を顧

駒澤大学文学部国文学科卒

増え、教職に携わる喜びを感

じております。

常勤講師 鎌年田 憲言征

(国語科)

は何にも代え難い人生の財産 です。またその青春時代に彼 子供にとっての高校時代と 駒澤大学仏教学部仏教学科卒 常勤講師 加



私が生徒を前にして最初に 「人生に無駄はない。」

年は武道(柔道)助手として、

命懸けでやっていきたいと思

えます。全ての生徒に輝ける

要な使命を背負っていると考

青春時代を与えられるよう、

た鎌田憲征と申します。一昨 講師として採用いただきまし にちは。今年度、国語科常勤

昨年は国語科非常勤講師とし

ませんが、語学としての英語 自分を振り返る良い時間が持 がら参加しています。 くのことを感じ学んで欲しい ャンスなので、出来るだけ多 て、異文化に触れる絶好のチ 期待される生徒たちにとっ などは、今後国際的な活躍が もバンクーバー での夏期研修 て行きたいと思います。中で 西洋文化を少しでも多く伝え と言うと語弊があるかもしれ と願う気持ちで少し高揚しな 教育に留まらず、これからも 今回は、十年という節目に

ずに、生徒と共に成長して行 分自身を練磨することを忘れ きたいと思います。 に流されることなく絶えず自 てました。これからも、惰性 (英語科)

でも必ず何かの役に立ってい 言った言葉です。どんなこと ると、私は思います。

する。その姿が悟りの姿なの だから。 管打坐」 只ひたすらに坐禅を に、壁に向かって坐る。「只 三十分ほど物音一つたてず 生徒を禅堂に連れて行き、

生懸命に精進していきたいと 室は少々緊張致しますが、一 とても良い時間だと思います。 持ち無沙汰にも見えますが 坐ることは高校生にとって手 蒠味を求めます。 何もせずに 現代人は何をするにも必ず 最後に、恩師ばかりの職員

> 思います。 このご縁に感謝して。 (四十七期・宗教科)

私にとって、日本文化を学ぶ

かな伝統に育まれた校風はと 最適な場所でもあります。曹

駒澤大学経営学部経営学科卒 書記補 富樫 大介

法など、カナダでも取り入れ ても魅力的で、日本の礼儀作

て行くべきだと思うことが沢

ダ人である私は、その恩返し

山あります。その一方、カナ

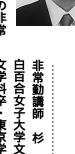
少しでも高校が効率良く適格 する時もあります。しかし らも駒大高校が良くなるよう した学校生活を送れればと思 です。時には自然発生的に増 かこなしているといった感じ 努力していきたいと思います。 い、頑張っています。 これか に進み、生徒や先生方が充実 えているのではないかと錯覚 会計までと幅広く、毎日何と ます。 仕事は日々の雑用から 私は事務職として働いてい

早稲田大学大学院教育学研究 非常勤講師 滝 脇 修 司



す、滝脇修司と申します。 勤講師として勤務しておりま 本年度より、国語科の非

いかに生徒に学習に対する動 り、大学院における研究の成 機付けを持たせるかという点 果を、現場に還元できるよう 育学研究科に籍を置いてお に努めて、教壇に立っています。 授業において肝要なのは 現在、早稲田大学大学院教 科在学中



駒大高校に勤め始めて数ケ

くお願い致します。 にあると考え、明確な学習目 して参りますので、何卒宜し ていくよう日々心掛けています。 標を提示しつつ授業を展開し 今後とも精一杯生徒を支埋

(国語科

駒澤大学大学院人文科学研究 非常勤講師 悉。 知ቴ 由紀夫



して未熟な私を支えてくださ も変えがたい。また、教師と ることのよろこびは、何物に はり生徒たちである。 打てば 活力を与えてくれるのは、や 頭を悩ませることもしばしば りの難しさなどを実感する。 えない。本校のさらなる発展 る他の先生方にも感謝を禁じ だが、そのようなとき日々の ることの責任の重さや授業作 力していきたいと強く思う。 に資することができるよう努 響く彼らとともに時を過ごせ 実際に教壇に立つと、教え

院教育学研究科在学中 文学科卒・東京学芸大学大学 白百合女子大学文学部国語国 本千



月、幼い頃からよく遊んだ馬 事公苑の隣りにあり、身近で

うか?僕は皆さんに夢はなる

である皆さんの夢は何でしょ

べく大きく持ち続けて欲しい

徒の爽やかな挨拶が私の元気 の源になっています。日々の 懐しい思いを抱いて通う毎日 断・批評する目を育てていけ を持ち、物事をしっかりと判 授業では、自己表現する言葉 です。また、とても多くの生 非常勤講師 るよう、努力していきたいと 野 (国語科)

筑波大学大学院教育研究科卒

やはり部活動が盛んであり、 った時には、練習の気迫を思 の他に於いても自分自身を磨 日々であります。私が最初に を迎えます。と言いましても でき、今もその気持ちを大切 動のお陰で、何か試練に当た に新しいです。 私自身も部活 耳に致しますが、駒大高校も また部活動を通して、勉学そ も挨拶が良くて明るいこと、 抱いた、皆さんの印象はとて 私自身まだまだ自己研鑽の 於いて大学院生活と中学高校 させて頂きます浅野と申しま いて主に三年生の授業を担当 年度から駒大高校数学科に於 い出すことで乗り越ることが 野球部の全国大会出場も記憶 駒大と言えば駅伝大会をよく にて数学教育を実践し三年目 す。私は昨年まで筑波大学に に持ち続けています。 高校生 いている事を発見しました。 皆さん初めまして、私は今

(国語科

と願います。皆さんの年齢は さい。若いということは、何 ることなく、燃やし続けて下 いう若い間の機会を無駄にす され、そうでない人は、今と ている人はそれに向けて邁進 無限の可能性を秘めている いう言葉を最後にします。 にも勝る貴重な財産です。 自由度も大きいと思いま もうやりたい事が決まっ

日本体育大学体育学部武道学 非常勤講師 Щ

報

新

初めまして、武道 (柔道)

えのない青春時代を送った母 砕身で職務を全うしていきた いと思っています。 得たという誇りを持ち、粉骨 もあります。その母校に職を 道に私の全てを懸けた場所で 校であり、柔道部員として柔 横山です。 駒大高は、かけが を担当することになりました

窓

闻

高校卒業後は、駒澤大学経

の違う学生と共に受講するの 持つ学生と知り合い、その交 に違和感がありましたが、教 体育大学体育学部武道学科へ 友関係は私の大きな財産とな 員を目指す学生など同じ志を 編入学しました。最初は年齢 の専門知識を得るために日本 事に卒業、その後体育や柔道 営学部経営学科へ進学し、無

時より柔道部のコー チとして して勤務していますが、学生 この四月から非常勤講師と

> 携わっているので、一日の終 と流した汗でびっしょりにな わりは普段と変わりなく生徒

致しています。 ある「行学一如」と理念が あるという我校の教育理念で ぶことと行うこととは一つで 柔道の理念の一つに「知行合 ると考えています。そして、 むことが自己確立への道であ 全なる精神と健康な身体を育 確立です。心身を鍛練し、健 道の最終的な目標は、自己の いきたいと思っています。柔 て五年間勤めていますので経 長するように授業を展開して 験を活かし、生徒が逞しく成 一」があります。それは、学 教科の柔道では、助手とし

(数学科)

ど宜しくお願いいたします。 は今後ともご指導ご鞭撻のほ たいと思います。諸先輩方に のために心血を注いでまいり 輩者ですが、誠心誠意、生徒 を提供したいと思います。 若 にとってかけがえのない時間 を学び、感動を味わい、生徒 を通し礼節や人への思いやり 道)の時間では、生徒が柔道 ると私は考えます。武道(柔 切な役割を担うべきものであ 我校にとって武道教育は大 (四十五期・保健体育科)

学習院大学文学部英米文学科 非常勤講師 西 Щ



勤務しております。私は、も 科の非常勤講師として本校に 平成十五年四月より、英語

に持ち続けてほしいと思って

えで、最も重要なことです。 更津にある高校で過ごしてお ですが、高校時代は千葉の木 すれ違う度に「こんにちは. います。廊下を歩いていても、 の高校生だなー と感じまし 生に対する第一印象は、都会 りました。ですので、駒大高 きればと考えています。 い学校づくりのお手伝いがで 世間は暗い話題ばかりです す。 挨拶は人間関係を築くう と元気な挨拶をしてくれま 元気が良いということだと思 高生の良いところは、非常に た。(良くも悪くも...。) 駒大 とは東京の田端の生まれなの この長所を生かした明る

早稲田大学第二文学部文学言 非常勤講師 語系専修卒 Ш

(英語科)



みには汗だらけになってボー 日もクラブ活動に励む生徒を 来て最初に受けた印象は活発 ぎました。 初めて駒大高校に 多く目にしました。 ルを追いかけ、放課後や土曜 や笑い声が校舎に溢れ、昼休 で元気のある高校だと感じま 校に奉職してから三ケ月が過 **した。生徒の明るく大きな声** 早いもので駒澤大学高等学

くれます。この良い所も生徒 もしっかりとした挨拶をして ます。礼儀正しさです。ほと んが一つだけ増えた事があり んどの生徒が、どこで会って 今もその印象は変わりませ

に微力ながら協力させていた だきます。 生徒達のよりよい未来の為

駒澤大学文学部英米文学科卒 谷 正



かし、中学生っぽい行動をす でいて、何でも相談にのって をとても楽しみにしてい 担当させていただいてます。 も二年生も興味深いです。ま ることが多いです。二年生は な考えをぶつけてきます。し ると感じます。授業中、色々 せだと感じています。私は ただけることに、私は大変幸 が実現し、母校で働かせてい て立派な成人になるよう努め あげたいです。 生徒が人とし いる分、生徒とより近い存在 す。たくさんの生徒と接して して、生徒の成長をみること 私は授業や他の学校生活を诵 顔色がかわったと思います。 が、一週間の合宿を終えて、 苦労しているようすでした み、人間関係や組織づくりに 先日、夏合宿に参加しました。 た、私は吹奏楽部の副顧問を まう。そして、個性豊かです。 考えよりも行動が先に出てし す。一年生は特に勉強ができ **部員達は練習に懸命に取り組** 一人一人を見てみると一年生 一・二年生を担当していま 中学生からの先生になる夢

(英語科 私の趣味® 達人へ

(四十九期・英語科)

て黒帯を持っているべきなの

かと考え、帰国後、すぐに空



会いから話をしたいと思いま 私はいろいろなことを学びま 手です。空手の稽古を通して り組んでいるもの、それは空 した。まずは、空手と私の出 奇心を持って飛びつく、驚き、 めならば、どんなことでも好 大好き人間の私が今熱心に取 大好き人間です。その「驚き」 私は毎日を楽しく過ごすた

から思うと短絡的ですが、す 武道家だとイメー ジを持って ぞ。」と怒鳴るのです。外国 相を変え、私に向かって「お はそれまで武道というものに する人はいませんでした。今 うに私の国籍までも強く否定 し、この時のヨルダン人のよ 私は同じ質問を何人かの外国 持っていない日本人はいない 前は日本人ではない。黒帯を い。」と答えると、彼らは形 携わったことがないので ら、「お前の帯の色は何色 在中にヨルダン人の友達か 情径行な私は、日本男児とし 人には日本男児全てが一流の 人から受けてきました。 しか いる人が多く、それまでも、 だ?」と尋ねられました。私 帯というものは持っていな 今から五年前、アメリカ滞

ができました。

上級者の部でも優勝すること

手を習っている先輩を訪ね、 道場を紹介してもらいまし

部で優勝し、その次の年には、 す。ですから、稽古が苦しい た。それ以降、精神的にも肉 は許されない武道の世界に私 られることはありません。 そ です。日常、人を殴って褒め を殴って褒めらるということ な人間でした。そんな私は られることの多いかわいそう を殴ったことがなく、逆に殴 て一年で関東大会の初心者の 楽しさに変えることができま 時でも自分が強くなるためな だということも感じたので と強くなれる可能性があるの ました。そして、練習を積み のを自分で感じることができ 体的にも日々強くなっていく は魅せられてしまったのでし の一瞬たりとも気を抜くこと 入門当初「驚いた」のは、人 した。その結果、習いはじめ 重ねていくほどに自分はもっ んだと考えるとその苦しさも 空手を始めるまで、私は人

だけではなく、人生観も変わ ったように思うのです。 ただ単に強くなるということ たように思われます。 それは 身を大きく変えることができ 私は空手によって、自分自 これは入門当初の話です

ててある靴をそろえているの が何も言わず、玄関に履き捨 です。その先輩が私にこう教 が、私の父親くらいの大先輩

非常勤講師 小 Щ 信太郎

えてくれました

って、心も整います。道場に **また帰る時も、心迷うことな** 習にのぞむことができます。 とによって、いい気持ちで練 関です。 靴がそろっているこ 入って最初に目に入るのが玄 く自分の靴を履くことができ 「靴を並べ整えることによ

ろえるよう心掛けるようにな ているのに気が付いたら、そ 私も玄関で少しでも靴が乱れ を受けました。その時から、 私はこの言葉にとても感銘

日の自分より明日の自分と、 当の強さとは自己の目的に向 なると思っています。 日の自分より今日の自分、今 がどんな道でも最大の才能に であり、それを継続させる力 常に相手は今の自分なので 少しずつ自分を成長させる。 気付くようになりました。 昨 であると私は思います。 人と さには限界がありません。 本 界がありますが、精神的な強 思います。身体的強さには限 ますが、まさにその通りだと す。 毎日毎日が自分との戦い 最大の敵は自分自身であると かって努力を継続できること **戦い、人を制することにより、** 武道は人間をつくると言い

立てていきたいと思っていま 生に、そして社会のために役 を、これからの自分自身の人 空手を通じて学んだこと

(四十五期・英語科)

過ごしている。

ね太平無事を楽しんで日々を

り

神

谷

道

ことを繰り返している。

恩師を動物で

閑

が、退職して三年余、おおむ な成句はないと粗忽者扱いさ と言ったところ、謹厳な伯父 日を送っているわけではない れてしまうところがある。 には洒落が通じず、そのよう 近況を、閑中自ずから忙あり」 がある。 そこで迷亭が自らの 静岡の伯父を連れてくる場面 **美学者迷亭が苦沙弥先生宅に** むろん迷亭ほど太平楽な毎 『吾輩は猫である』の中で

限り網羅的に歩いて訪ねた い、ということがある。 一つに、鎌倉の史跡をできる 若い頃、鎌倉時代の女流日 退職後のささやかな目的の

闻

う政治上の事件にも遭遇した 後『平家物語』の翻刻・注釈 面の多い作品であった。その あった。筆者の女性は鎌倉に て鎌倉は気になる場所の一つ もあり、それらの仕事を通し 作業をする一員であった時期 時の将軍惟康親王の更迭とい 下り、社寺の参詣はもとより 記について調べていたことが 鎌倉を舞台に興味深い場

はあるが史跡や歴史的事実、 となっているのである。 退職を機に趣味的な立場で

それにまつわる伝承、文学ゆ とにコース設定をして平成十 も網羅的な内容の案内書をも ら、自分なりに総合的に調♂ かりの旧跡など足で確めなが て見ようと思ったのである。 |年三月二十五日から歩き始 比較的信頼の置ける、しか

石関連の講演を聴くことがで 漱石の会」に入会してしまっ たかったので、これは「鎌倉 寺の塔頭帰源院も内部拝観し が参禅したことで有名な円覚 いに助かっている。 夏目漱石 の会にも入会した。たまたま **もあるので、鎌倉の古寺巡り** いての講座を受講している。 センター にも顔を出すことに の著作物も読んだが、一方専 ほぼすべてを歩き終わった。 回かけて予定の史跡・社寺の めた。翌年三月までに三十数 た。会員は年二回本堂内で漱 要だろうと考え、カルチャー 門家の話を直接聴くことも必 観など個人には認めない寺院 **原則なのであるが、仏像の拝** した。 現在は鎌倉の仏像につ **らい講師に恵まれ、これは大** 私の鎌倉散策は一人歩きが 歴史家の手になる鎌倉関係

た確認のため足を運ぶという かな点が出てくるもので、ま いる。 文章にしてみると不確 ソコンに打ち込むことにして や調べたことを忘備のためパ た史跡について気づいたこと 現在は拝観した社寺や訪れ

『義経記』など鎌倉がらみの どない。そこで古典の作品を 挙両得をねらったのである。 どというが、パソコンを筆が 打ち込んで読書も兼ねてパソ から「読書写書に如かず」な コンに慣れることにした。昔 あるが、退職者にとって必要 十二作品を読み終えた。 これで、『承久記』の異本や わりにして読書を実行し、 にせまられる文書などほとん も手っ取り早い習熟法なので まなケースに対応するのが最 得も心がけたことの一つであ 退職を控えてパソコンの習 必要にせまられてさまざ

躍ぶりや〇Bとの再会もまた ることにしている。 選手の活 の高校野球はきるだけ応援す 園出場を果たしたが、毎年夏 今夏は駒大苫小牧高が甲子

> の報告のようになってしまっ 必要な資料の収集などが実は 休暇中は別としてその準備や はいまだに現役なのである。 もある。駒澤大学に週一回出 お世話になってもいる。 用することが多く、先生方の 作成には高校の機器設備を利 いる。学生に配布する資料の 講していることで、その点で たが、まだ継続している仕 週間の生活の基調となって 浮世離れのした趣味的生活

いう点で重要な意味を持つも る総合学習についての論議も てしまう虞れが多分にある。 標設定が肝心で、それが曖昧 のではあるが、それだけに日 ない体得の原理に立つ学習と 盛んである。こは知育に偏ら 玉 (特に小・中) の一つであ 課程となり、世間ではその日 高等学校も今年から新教育

諭として奉職。 平成十二年三 思われる。(15・8・15 記) 皆が地道に考え、将来のため ぎると逆に弊害をもたらすこ (昭和三十四年十月国語科教 点を養うことは大切なことと によりよい選択をして行く卸 から適切な判断材料をもとに とにもなりかねないが、平表 教育問題は肩に力を入れ

> 行ってみたい所であった。宝 にも出てくるので、是非とも

・平家物語について」の評論 る大山祇神社は、小林秀雄の 瀬戸内海に浮かぶ大三島にあ

いる。昨年は四国を巡った。

旅は年に四回ぐらいはして

オタク老人のつれづれ

中

のころからの友人に出会った 島に帰った。その折、子ども 旅しようと思い、故郷の鹿児 この四月に奄美大島にでも 多いようだ。 一方では新しい 社会に参画している人あり、 生きかたを見出して積極的に り、公園のベンチに毎日通う って悶々と日々を過ごす人あ いようだ。 現役時代を引きず ありで、定年退職後の生きか この時とばかり趣味三昧の人 人ありで、 無聊をかこつ人は

かも知れないが、退職の日を 分は生来の怠け者なの、精神 うと秘かに決意していた。 自 を絶って、別の世界に生きよ 境に今までの世間的な交わり れは空想であり、単なる憧れ 自分の場合はというと、こ

が、彼は定年退職後のつれづ

て数年も経つ今でも、忙しく れを嘆いていた。 仕事を離れ

く話で、彼だけのことではな る。このようなことはよく聞 忘れられないというのであ 働いていた現役時代のことが

けるのを夢見たのである。

ば、他人と交わっている暇な りない。快適でさえある。残 他人との接触のない日が延々 するようにしなさい。」「趣味 された人生の少なさを思え と続く毎日であるけれども、 すら怠けてみたいということ を持ちなさい。」など。しか を持ちなさい。」「社会と接触 している。 いわく「生き甲斐 を基本にした道理が主流をな の倫理であり、善である。そ 世の交わりの中では、努力 であった。そして今の自分は **んなことではなく、ただひた** し、自分が憧れていたのはそ して老後の生きかたにもこれ 精進、向上心を持つのは当然 的にも肉体的にも徹底的に怠 人恋しさを感じることはあま

名な大村はま氏が九十七歳の 内容で読みやすくもある書物 話題の教育問題について考え 本の学力・人づくりなどいま 習・自ら解決する力・基礎其 え子らと今年の三月『教える るための示唆を与えてくれる いう書物を公刊した。 総合学 ことの復権』(筑摩新書)と **高齢にもかかわらず当時の**数 の手本と言うべきもの) で薬 単元学習の実践 (総合学習 死語である。 こういう生きかたでありな

の赴くままに、悠然として南 少ない人生を、気ままに、心 老後の生活ではあるが、残り

平々凡々、何の変哲もない

山を見ながら過したいと願っ

ないだろうと思われるかも知 同じことの繰り返しでつまら なっている。他人から見たら れないが、自分にとっては楽 まったくない。 続けているが、飽きることは しいことこの上ない。 三年間 こともしばしばある。 これが日々の生活の基本に

どないということかも知れな のように見えて、実際は十回 のうち一回ぐらいしか自他共 の授業と相通ずるものがあっ はなかなか作れないことを身 て、毎日同じことの繰り返し に泌みて感じている。 現役中 料理というものは、同じ物

ば市井隠遁である。今はただ ということか。自分流に言え **貪っている。努力とか頑張る** 飲む、という自堕落な生活を たい時に食べ、飲みたい時に 起き、寝たい時に寝る、食べ 気にもとめず、起きたい時に きかたについての情報はあれ 日々を送っている。老後の生 心の欲するところに従って い。今流に言えばオタク老人 とかいう言葉は今の自分には これ多いけれども、たいして

胡瓜、苦瓜、唐辛子などの成

育状況を見るのも楽しみだ

し、池に落ち込む懸樋の水の

首は飽きることがない。

のも日課の一つである。葱、

めた小さな遊歩道を巡回する

を巡るように御影石を敷き詰 飽きることはない。池の周囲 に認めるようなものはできな

いので、日々挑戦という感じ

庭の手入れと菜園の仕事も

並べて仕度は終了。庭に出て 干しでだしを取って作る。お 五時か六時には起きて朝食の 規則な生活になっていないの が、二時間、三時間をかける を考え、おおよそ決めてから くのを待つ。そして一緒に食 かず二品程度を作って食卓に 仕度をする。 味噌汁は必ず者 がら、結果的にはそれほど不 買物にでかける。 夕食の仕度 をやりながら家族が食卓に着 が面白いところである。 朝け にはだいたい一時間を要する 事を摂る。 午後は夕食の献立 池の懸樋に水を通し、鯉に餌

> 実感した。もっと早く来れば ありながら実用品だなあ、と たりにした時には、工芸品で 物殿の甲冑、刀剣類を目のあ

よかったと少し残念に思った。

(昭和三十九年四月国語科教 諭として奉職。 平成十二年三 記念総会・式典の日時・場 立五十五周年を迎えます。 同窓会・創立五十五周年 同窓会は平成十七年に創

所等の概要が決定しました。 平成十七年六月十一日 (土曜日)

母校・各施設にて

午後四時より

上

教諭 井

保

生徒募集委員・

広

いても、 な打撃であり、 になり学力レベルも伸び悩んでいる現況である。 価値観や意識にも大きな変化が見られるようになっ とりわけ少子化現象は、私立学校にとっては大き 時代は大きく変ったといえよう。 ルがはじけデフレが深刻化し、 その影響を受け、 楽観が許せない状況である。 受験者の減少が目立つよう 先行き不透明 そして、 本校にお 人々

また駒澤大学をはじめ他大学受験にも積極的にチャ ンジできるような生徒を育てるために、 「の検討を続けてきたが本年度より、 こうした社会の変化やニーズに十分対応するために 一年次は、 芸術科目以外はすべて共通履修で、 そのスター 新カリキュ

授業のない第二、第四土曜日は大学受験講座や、 てている。 が休日)授業のある第一、 している。土曜日は隔週休日制で(第二・第四土曜日 英語は学習効果を高めるために習熟度別クラス編成を 養うことを目的にプログラムを設定している。 よび基礎学力養成講座を受講することができるよう 総合学習は自分で解決する力、 文法検定、 英単語、 第三土曜日は各種学習テス 数学) と総合学習に 生きる力を また、

うに大幅な教科選択制を取り入れ、 あり、 現役合格をめざすコースで、 コースは主に駒澤大学への推薦入学をめざすコース |年次からは進学コースと受験コースに分かれ、 受験コースは文系と理系に分かれて他大学へ 個々のニー ズに合うよ 週六日間のフル

扱いがありますので、 芝浦工大システム工学科、 立大学の併願受験もできる。 試験の高点順に大学の定める人数の範囲内で選ばれる。 年次 (三月) と三年次 (九月) に実施される校内学力 駒沢女子短大保育科など多くの指定校制度もあ 東洋大工学部などの理数系の学部や山野美容芸術短大 (高木)までお問い合わせ下さい **・年度は短大を含め八十%近くの生徒が駒澤大学に進** 駒澤大学への推薦入学は高校三年間の学業成績と 同窓生の子女および弟妹につきましては優遇 十六年度の入学試験要項は下記のようになり また、 駒澤大学の推薦を受けながら国 詳細につきましては同窓会事務 東京電機大情報環境学部 、その他、 成蹊大工学部 శ్

している。

説明会の

■学校説明会・見学会について

本校の教育目標・特色等の紹介と平成16年度の入学試験実施要項についての説 明をします。

■学校説明会

局

らすが、 が、

①10月11日(士)午後2時~ ②11月8日(土)午後2時~ ※体育館にお集まりください。

■学校見学会 9月以降の毎週土曜日

※会議室にお集まりください。

■駒大高祭

①11月2日(日)

②11月3日(月)

※入試相談コーナーがあります。

詳しくはテレホンサービス・ホームページをご利用ください。 テレホンサービス・・・・・0180-99-3579

ホームページアドレス・・・・ http://www.komazawa.net/

■1年間の学費総額について

学費は4月・9月・1月の三期に分納していただきます。

学費は「学校納入金」と「代理徴収金」から構成されています。なお、平成16年 度の学費決定は10月下旬になります。参考までに平成15年度の学費を掲げてお きます。

① 学校納入金

授 業 料 387,000円 実験実習費 2.000円 89,000円 維持費 478,000円 計

② 代理徴収金

校外学習費 65,000円 旃檀会(PTA)入会金 10.000円 45,000円 旃檀会(PTA)会費 校友会入会金 5.000円 7,200円 校友会会費 学校保健センター加入費等 15,260円 計 147,460円

学費合計(①+②) 625,460円

◎2年次の実験実習費は12.000円(参考:平成15年度)です。

◎代理徴収金とは、校外学習等に関わる実費です。諸般の事情により一部変更す る場合があります。

◎上記の他、教育施設・環境整備募金として任意の寄付金(1口 10万円以上)を 入学後にお願いいたします。

Ħ

推薦入試

●課程·学料: 全日制·普通料

●募集人員:男女240名

●出願資格:平成16年3月公立中学校を卒業見込みの者で、本 校を第一志望とし、中学校長の推薦する者。

●出願期日: 平成16年1月19日(月)・1月20日(火)

●受付時間:午前9時~午後4時

●推薦基準: (1)推薦

7 拍標 3教科が10の場合は9教科34以上 3教科が11の場合は9教科32以上 3教科が12の場合は9教科30以上

※①3教科は国・数・英の評定合計

《U3教科は国・数・英の評定合計 9教科は全教科の評定合計 ②9教科中に1の評定がなく、かつ3教科中に 2の評定がないこと ③適用範囲地域は、東京都および神奈川・千葉・ 埼玉の各県の国・公立中学校在籍者

(2) 併願推薦 9教科評定合計が36以上 ※①9教科中に1・2・3の評定がないこと ②適用範囲地域は、東京都および神奈川・千葉

の各県の国・公立中学校在籍者 ③併願校は国・公立の高等学校に限る

●出願手続: 下記のものを一括して出願期日内に本校窓口に提

出・納入してください。 (1)入学願書(本校所定の用紙)

(2) 中学校長調査書(本校所定の用紙)(3) 受験料22,000円

●入学試験:平成16年1月22日(木)午前9時開始

作文(45分) 面接(志願者本人のみ)

●合格発表: 平成16年1月23日(金)午前10時~午前11時

事務室窓口において受験票と引換により発表

●入学手続: 平成16年1月26日(月) まで 合格者は上記の期日に入学金及び施設費を銀行よ り振込納入してください。

(1) 入学金250, 000円(参考:平成15年度) (2) 施設費150, 000円(参考:平成15年度) 上記期日に手続を完了しないときは、入学資格を 失います。また、一旦納入された納付金は、事情 の如何に関わらずお返しいたしません。なお併願 推薦の場合は、公立高等学校の合格発表後の納入 となります。

-般入試

●課程·学料:全日制・普通科

●募集人員:男女240名

●出願資格: 平成16年3月中学校卒業見込みの者

(中学校卒業の者含む)

●出願期日: 平成16年1月26日(月)~2月5日(木)(日・祝日を除く)

●受付時間:午前9時~午後4時(土曜日は正午まで)

●出願手続:下記のものを-括して出願期日内に本校窓口に提

出・納入してください。 (1) 入学願書(本校所定の用紙)

(2) 中学校長調査書(公立高校受験用の用紙・様式)

(3) 受験料22, 000円

●入学試験:平成16年2月10日(火)午前9時開始

国語・数学・英語(各50分) 面接(志願者本人のみ)

●合格発表:平成16年2月11日(水)午前10時~正午

本校において掲示により発表

●入学手続: 平成16年2月12日(木)

合格者は上記の期日に入学金及び施設費を銀行よ

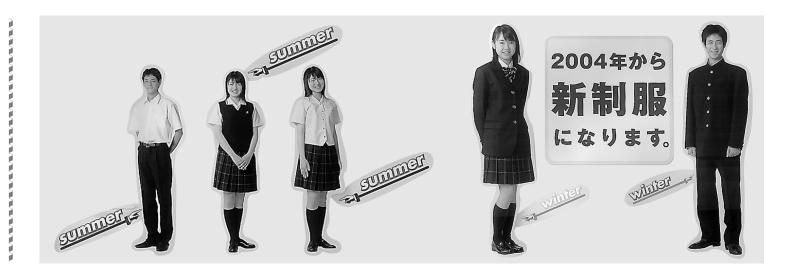
り振込納入してください。

(1) 入学金250, 000円(参考: 平成15年度) (2) 施設費150,000円(参考:平成15年度) 上記期日に手続を完了しないときは、入学資格を 失います。また、一旦納入された納付金は、事情 の如何に関わらずお返しいたしません。但し、国 公立高等学校に入学を希望する者については、申し 出により入学金・施設費の全額を公立高等学校の合 格発表後にお返しします。返還の手続については 本校入学試験の合格発表の時に指示します。

単願制度および第一志望優先の扱いについては在 ●その他: 学する中学校の先生にご相談ください。なお、曹 洞宗寺院徒弟には、優先入学の制度が設けられて います。また、駒澤大学附属岩見沢高校を第二志

望でご希望の場合はご連絡ください。

会事務局(高木)までお尋ね下さい。 はありますが優遇措置がありますの たいとのお考えがありましたら、 学んだ縁を大切にし、 受験生をお持ちの 優遇制度のお知 同窓生の方々で、 子弟妹を母校に学ばせ 一定の基 母 校に 同



強豪校といえば、麻布・開

水泳教室」

教諭・小]|[智 子



総合運動場温水プールにて、 はプールがないので世田谷区 用して、二年生を対象に水泳 の中に入るので、事前に生徒 男女十名で行っています。水 教室を開いています。 本校に

土曜日の三、四時間目を利

生の皆さん、世田谷区総合運 う生徒もいますが、毎回元気 泳げませんという生徒、中に タフライは苦手、平泳ぎしか 中には四種目泳げる生徒、バ 動場温水プールで、黄色いス ば出来るんだ」という満足感 目は生き生きとして、「やれ はバタ足しか出来ませんとい たら、ぜひ声をかけて下さい イムキャップの集団を見付け にみちあふれています。 同窓 て、25M完泳した時の生徒の 泳げなかった種目を練習し 感動をもらっています。 特に よく水しぶきをあげながら 一生懸命泳ぐ生徒達に勇気と

校 友 会 だより

同

将棋 部

井

きました。現在、東京では、 位に入賞し、おおいに気を吐 出場できませんでしたが、第 年度の全国高等学校囲碁選手 国学院久我山等を相手に、三 権の東京予選では、本選には 員が囲碁部門で将棋部門は、 部員で活動しております。 全 **有段者が二名おりまして、今** 一名も在籍しておりません。 グループでは、開成高校・ 囲碁将棋部は、現在七名の (地歴科・囲碁将棋部顧問)

すが、そういう学校になんと 成・筑波など受験校ばかりで か、一歩でも近づけるように、 思います。これからも、応援 現在指導していただいており あった安藤君 (三十五期) に 会で四位になった時の部員で よろしくお願い致します。 ますので増々、腕が上がると 思います。かっては、全国大 一所懸命頑張っていきたいと

校友会活動報告

ソフトテニス部 関東大会出場

五月三十日 (金) ~六月一日 二年 A組 丸木享範 三年日組 新木佑輔

埼玉県狭山市智光山公園テ ニスコート

五月三十日 (金) ~六月一日 パレーボール部

 $\widehat{\exists}$

栃木県宇都宮市体育館

体操競技部

五月三十日 (金) ~六月一日 三年日組阿比留夕貴

センター 千葉県千葉市総合スポーツ

女子団体 男子団体

六月六日 (金)~八日 (日) 男子個人 三年E組

東京都渋谷区代々木・東京

体育館



七月二十五日 (金)・二十六 千葉県長生郡睦沢町房総力 ントリークラブ 三年 | 組 白石和正

ソフトテニス部 インター ハイ出場

八月六日 (水)~八日 (金) テニスコート 長崎県長崎市総合運動公園 二年 A組 丸木享範 三年 B組 新木佑輔



ンテスト出場 NHK杯全国高校放送コ

視聴覚研究部

七月二十二日 (火)~二十四

東京都渋谷区代々木・NH

ドホール

金賞受賞= 全国大会出場

九月七日(日) 東京都杉並区・普門館

吹 樂 部

十一月一日(日) 全国吹奏楽コンクー ル全国大会出場

東京都杉並区・普門館 課題曲= 松浦伸吾作曲

自由曲= P・ウイリアムス作曲 マーチ「ベストフレンド」 ラプソディ」

国民体育大会出場

九月十三日 (土)・十五日 三年」組 白石和正

ソフトテニス部 静岡県袋井市葛城ゴルフ倶

二年—組 澤田 学 二年 A組 丸木享範 三年 B組 新木佑輔

十月二十六日 (日)~二十九 二年 K組 吉田真人

静岡県静岡市草薙テニスコ

体操競技部

日(水) 十月二十六日 (日)~二十九 静岡県静岡市ツインメッセ 二年 B組 久保田将弘

(次年度出場権獲得) 八月三十日 (土) **連盟会長賞受賞** 全日本高等学校吹奏楽大会

真理子 (53期)

紀子 (52期)

げて、学習で得たものを「取

捨選択」してこれが物忘れの

原因だとしたら問題。 年をと

能。年をとると本能が幅を広 につけて記憶する身勝手な機 のとか何しろ優先順位を勝手 の都合の良いことや必要なも

ホーム 神奈川県横浜市神奈川県民 全国吹奏楽コンクール都

第三十六号私のひみつ

と、効果は八割。残りはあき

の神経を刺激する事が良い **いだろうか。指先を使って脳**

「」リーグをご存じですか? とあるのは「大木誠」の誤り の記事筆者名が「加納哲哉 変申し訳ございませんでし でした。訂正します。 に、再発防止に取り組みたい た。今後このような事が無い と考えております。 ご迷惑をお掛けしてしまい大 ように十分に注意するととも これにより会員の皆様に、

詫び申し上げます。 編集委員長 荒井

クラス会・OB会・OG会

に一万円の助成金を支出し 睦・交流を目的に、クラス 会やOB会・OG会の開催 同窓会では同窓生の親

った。勤務中でも相手と話し

小生、最近物忘れが多くな

ハ転七起

ていて、何の事でと気にしな

がらが多くなった。その場で

はそうだが、時間が経ち、ア

局までご連絡下さい。 詳細や申込は同窓会事務 多数のご利用をお待ちし

> ーンが最近の悩みである。 ッそうかと思い出すこのパタ

物忘れにも病気から起こる

編集委員会

お医者さんに診てもらうとし に分かれている。病気の方は ものと、年から起こるものと

委員長:荒井 「同窓新報」編集委員会11名 委 員:原 石川美由紀 (8期) 高木 元司 (31期) 瑞希 (51期) 正男(1期) 伸夫(2)期) 明廣 (19期) 由明 (16期) 恒一(16期) 治孝(5期)

択」機能があるという。自分

人間の本能の中に「取捨選

ら年のせいだから仕方ないと

なぜなら、後から思い出すな て、小生のほうは後者のほう。

元気付けられる所以である。

便りを載せたく原稿をお待ち 次号に会員のみなさんのお

忘れを止める何か解決策はな ることは仕方ないが、この物

把な説明だが、これも「取捨 らめて自分にあった方法を探 生きて行きたい。 選択」の一つと思って考えて せと聞いたことがある。大雑

解を頂くとともに、重ねてお 会員の皆様には、何卒ご理

『同窓新報』を心待ちにする をお寄せいただきたい。この さんからの情報をより多く掲 が進む。「同窓新報」も新た 集局からのお願い。(あらい) ような紙面を作り続けたい編 な試みを模索している。 会員 **まり新会長の下、新たに活動** 載したいと思う。 ぜひ、情報 各位の情報伝達の場として皆 今年度、同窓会役員会が改